

（注）このミニレポートは、当金庫が自主的に開示するものです。計数は、単位未満を切り捨てるなどして表示していますので、合計が一致しない場合があります。

いつも湘南しんきんをご利用いただきありがとうございます。私たちは、いつも「街に、皆さまに、いい風」をおくり続けたいとの想いを込めて日々業務に励んでおります。元気でさわやかな湘南しんきんをもっと知っていただくため、2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）における事業概況についてご報告いたします。

皆さまに選ばれる金融機関を目指し、正確で分かりやすい情報開示を行ってまいります。皆さまと共に歩む湘南しんきんにご理解とご支援を賜れば幸いに存じます。

湘南しんきんの概要（2023年3月31日現在）

名 称	湘南信用金庫	預金積金残高	1兆2,790億円
本店所在地	神奈川県横須賀市大滝町2丁目2番地	貸出金残高	7,460億円
理 事 長	鷲尾 精一（わしお せいいち）	役 職 員 数	710人
設 立 年 月 日	大正13（1924）年3月10日	店 舗 数	47店舗
出 資 金	250億円		（本支店46店舗 出張所1店舗）
会 員 数	53,005先	店舗外ATM	28か所

2022年度決算の概況

湘南しんきんの2022年度（2022年4月～2023年3月）における決算概況についてご報告します。なお、本ミニレポートは、当金庫の経営内容をいち早くお知らせするために掲載情報を絞り込んでいます。より詳しい計数を掲載した「ディスクロージャー誌」は7月中旬に発行しますので、是非ご覧ください。

2022年度の日本経済は、ロシアのウクライナへの軍事侵攻などを背景とする資源価格の高騰や海外との金利差拡大に伴う円安の進行による輸入コスト増大などが景気を押下げました。一方で、年明け以降は、新型コロナウイルス感染症の感染者数が減少に転じたことで、サービス関連の個人消費に回復の兆しがみられる等、経済活動の再開に向けた動きが出てきています。

なお、金融市場では、日経平均株価が4月に27,000円台でスタートした後、世界的な景気回復の流れを受けた企業業績回復の期待から8月には29,000円台まで上昇しました。その後、各国の金融政策の動向や中国経済の減速などの懸念から、一時25,000円台まで下落したものの、期末には再び28,000円台まで持ち直しました。

2022年度の主要計数についてご説明します。預金積金は、法人預金が増加したものの、個人預金が減少し、前期末比14億円減少の1兆2,790億円となりました。貸出金は、事業性融資に注力するとともに、地域のお客さま向けのフリーローン

の増加も加わり、前期末比140億円増加の7,460億円となり、過去最高残高を更新しました。

収益は、貸出金利息が貸出金残高の増加と利回が上昇した結果、前期比3億96百万円増加の121億32百万円となりました。余裕資金運用利息は、資金の効率的な運用を行い、同1億26百万円増加の15億52百万円となりました。以上の結果、業務収益は同5億98百万円増加の156億89百万円となりました。

一方、費用は、預金利息が利回の低下に伴い、前期比1億53百万円減少の3億27百万円となりました。また、国債等債券売却損は、市場金利上昇による含み損拡大への予防として債券を売却した結果、同7億76百万円増加の8億38百万円となりました。経費は、人件費が同45百万円、物件費が同1億31百万円減少したこと、税金を含めた経費全体で同1億81百万円減少の100億17百万円となりました。以上の結果、業務費用は同3億60百万円増加の122億93百万円となりました。

これにより、業務純益は前期比2億38百万円増加の33億95百万円、コア業務純益は同10億14百万円増加の39億85百万円となりましたが、資産の健全化を進めたことにより、当期純利益は同28百万円減少の16億30百万円となりました。

湘南しんきんの便利な各種ローン

湘南しんきんでは、お使いみちが自由な「フリーローン そよ風」をはじめ、窓口にご来店をいただかなくても、お申し込みから審査、契約締結までのお手続きをWEBサイト上で完結できる商品、「フリーローン モア」やカードローン「きゃっする500」等の品揃えもあり、大変ご好評をいただいております。

「フリーローン そよ風」



本店ローンセンター ☎ 0120-413-357

「フリーローン モア」



上大岡ローンセンター ☎ 0120-470-417

カードローン「きゃっする500」



(1) 預金・貸出金の状況

2023年3月末の預金積金残高は、法人預金は増加したものの、個人預金が減少し、前期末比14億円減少の1兆2,790億円となりました。貸出金残高は、事業性融資や個人向けのフリーローンへの取組み等により、同140億円増加の7,460億円となり、過去最高残高を更新しました。

<預金積金・貸出金残高>

	2023年3月末	2022年3月末	増減
預金積金残高	12,790 億円	12,804 億円	△14 億円
貸出金残高	7,460 億円	7,320 億円	140 億円

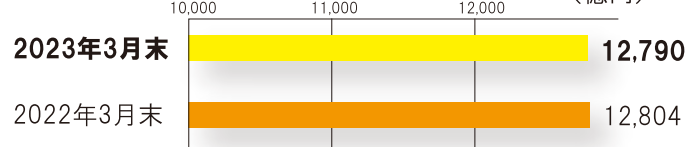
(注)増減欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。

<貸出金業種別内訳>

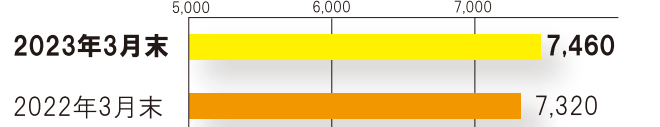
	2023年3月末 貸出金残高	構成比
製造業	136 億円	1.8 %
農業、林業	1 億円	0.0 %
漁業	1 億円	0.0 %
建設業	543 億円	7.2 %
電気、ガス、熱供給、水道業	23 億円	0.3 %
情報通信業	21 億円	0.2 %
運輸業、郵便業	97 億円	1.3 %
卸売業、小売業	368 億円	4.9 %
金融業、保険業	62 億円	0.8 %
不動産業	2,612 億円	35.0 %
物品賃貸業	9 億円	0.1 %
学術研究、専門・技術サービス業	62 億円	0.8 %
宿泊業	131 億円	1.7 %
飲食業	278 億円	3.7 %
生活関連サービス業、娯楽業	269 億円	3.6 %
教育、学習支援業	51 億円	0.6 %
医療、福祉	142 億円	1.9 %
その他のサービス	190 億円	2.5 %
小計	5,003 億円	67.0 %
地方公共団体	218 億円	2.9 %
個人	2,238 億円	30.0 %
合計	7,460 億円	100.0 %

(注)構成比は、小数点第2位以下を切り捨てて表示しています。

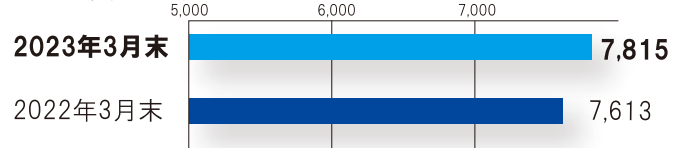
■ 預金積金残高の対比



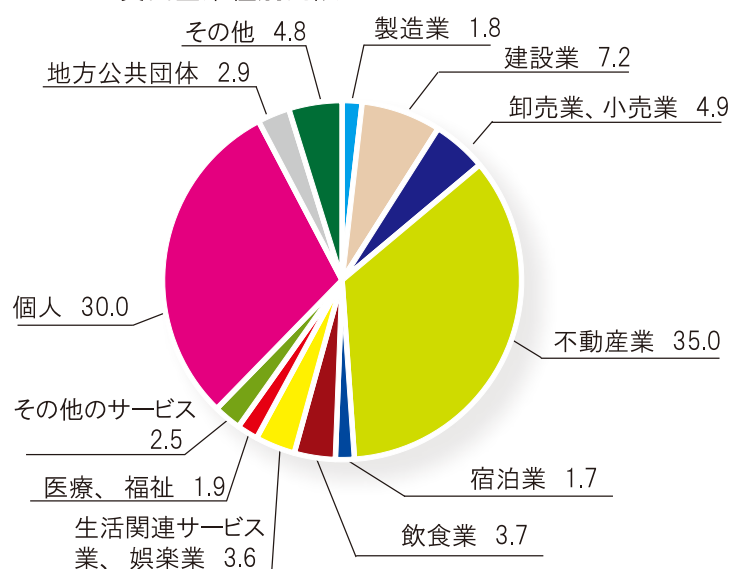
■ 貸出金残高の対比



■ 法人貸出先数の対比



■ 貸出金業種別内訳



(2) 損益の状況

2022年度の損益の状況について、業務粗利益は前期比横ばいの131億円となりました。

本業の収益力を示す実質業務純益は同2億円増加の31億円、臨時収益・臨時費用（不良債権の引当など）を加減算した経常利益は同2億円減少の17億円、特別利益・特別損失を加減算し、税金などを差し引いた当期純利益は同横ばいの16億円となりました。

		2022年度	2021年度	増減
業務粗利益	(A)	131 億円	131 億円	0 億円
うち国債等債券関係損益	(B)	△8 億円	0 億円	△8 億円
経費	(C)	100 億円	101 億円	△1 億円
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前業務純益)	(D)=(A)-(C)	31 億円	29 億円	2 億円
コア業務純益	(E)=(D)-(B)	39 億円	29 億円	10 億円
コア業務純益(投資信託解約損益を除く)		39 億円	29 億円	10 億円
一般貸倒引当金繰入額	(F)	△2 億円	△1 億円	△1 億円
業務純益	(G)=(D)-(F)	33 億円	31 億円	2 億円
経常利益		17 億円	19 億円	△2 億円
当期純利益		16 億円	16 億円	0 億円

(注)増減欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。

(3) 自己資本の状況

2023年3月末の自己資本比率は、前期末比0.13ポイント上昇し5.67%となりました。これは国内基準において4%を上回る、「経営体質が健全で問題のない金融機関」という区分に入ります。

<自己資本比率の内訳>

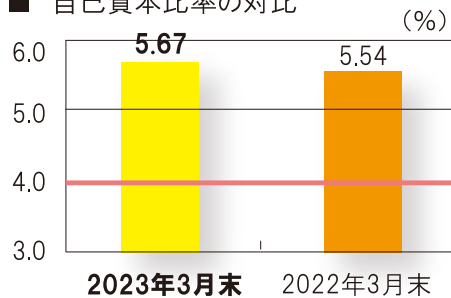
		2023年3月末	2022年3月末	増減
自己資本の額	(A)	338 億円	329 億円	9 億円
リスク・アセット等	(B)	5,953 億円	5,937 億円	16 億円
自己資本比率	(A)/(B)	5.67 %	5.54 %	0.13 pt

(注)1.自己資本比率は、円単位による計算結果を表示しています。

2.増減欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。



■ 自己資本比率の対比



用語のご説明

● 自己資本比率は、地域のお客さまからの出資金及び過年度の利益を元とした利益剰余金等により構成される自己資本の額の、リスクアセット等(リスクのある貸出金や有価証券などの資産をリスクの大きさに応じて再評価した資産金額)に対する割合のことで、経営の健全性を示す重要な指標であり、国内基準は4%とされています。

(4) 不良債権の状況

2023年3月末の不良債権額は、前期末比74億円減少の426億円となりました。これにより、不良債権比率は同1.11ポイント低下し5.70%となりました。

<信用金庫法開示債権(リスク管理債権)及び金融再生法開示債権の保全状況>

		2023年3月末	2022年3月末	増減
正常債権	(A)	7,049 億円	6,837 億円	212 億円
不良債権	(B)	426 億円	500 億円	△74 億円
破産更正債権及びこれらに準ずる債権		99 億円	127 億円	△28 億円
危険債権		324 億円	369 億円	△45 億円
要管理債権		2 億円	3 億円	△1 億円
三月以上延滞債権		0 億円	0 億円	0 億円
貸出条件緩和債権		2 億円	3 億円	△1 億円
合計	(C)=(A)+(B)	7,475 億円	7,337 億円	138 億円
不良債権比率	(B)/(C)	5.70 %	6.81 %	△1.11 pt
保全額	(D)	286 億円	338 億円	△52 億円
保全率	(D)/(B)	67.11 %	67.70 %	△0.59 pt

(注)1.不良債権比率及び保全率は、円単位による計算結果を表示しています。

2.増減欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。

用語のご説明

● 保全額・保全率とは、担保・保証等により回収が見込まれる部分と、貸倒引当金によってカバーされている部分の両者により、不良債権が保全されている金額・比率をいいます。

(5) 有価証券の状況

2023年3月末の有価証券の評価損益は、世界的なインフレを受けて各国中央銀行が金利引き上げを行った影響が国内市場にも波及して債券価格が下落したこと等により、61億円の評価損となりました。

	2023年3月末			
	貸借対照表計上額	帳簿価額 (A)	時価 (B)	差額 (B)-(A)
保有有価証券	2,385 億円	2,421 億円	2,360 億円	△61 億円
債券 (国債・地方債・社債)	2,048 億円	2,080 億円	2,026 億円	△54 億円
株式	2 億円	1 億円	2 億円	1 億円
その他 (外国証券・投資信託等)	335 億円	339 億円	330 億円	△9 億円
市場価格のない株式等及び組合出資金	0 億円			
合計	2,385 億円			

(注)1. 差額欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。

2. 時価は、期末日における市場価格等に基づいています。

2023年度の事業計画

- 当金庫は、基本姿勢「**BEST**を尽くす」を掲げ、物事の本質を見極め、均衡（**B**alance）を図りながら、力強さ（**E**nergy）とスピード感（**S**peed）を持ち、機を見て（**T**iming）果敢に行動してまいります。そして、個人のお客さまへのライフサイクルに応じた資産形成のお手伝いやアフターコロナを見据えた事業者への企業価値向上に向けたサポートなど、皆さまが抱えている課題の解決と地域の活性化に向けた取組みを2023年年度も役職員一丸となって実践してまいります。
- 今年度の数値目標として、事業性融資およびフリーローンをはじめとする消費者ローンの積極的な推進により「コア業務純益39億円」、「当期純利益20億円」の達成を目指してまいります。

■ 2023年度の事業計画

コア業務純益	39億円
当期純利益	20億円

(注)上記数値は、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は経営環境の変化等により異なる場合がございます。

トピックス

アフターコロナを見据えた事業者支援を実施しています

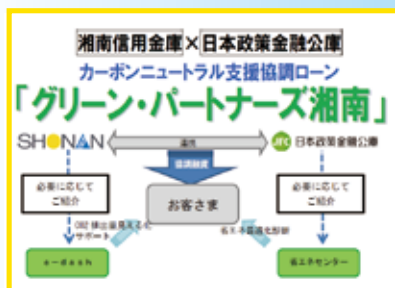
当金庫は、アフターコロナを見据え、経済社会の変化に対応するために、新たな取組みに挑戦する事業者を支援しています。

新たに茅ヶ崎市内でクラフトビールの製造・販売事業に取り組む事業者に対して、事業再構築補助金の申請支援を実施し、採択を受けました。同社の製造したクラフトビールが地元の飲食店や物販店で販売されることにより、地域経済の活性化に繋がることが期待されます。

引き続き、新型コロナウイルス感染症や資源価格高騰等の影響を受けている事業者に寄り添い、「伴走型」の支援を実施してまいります。



事業者の脱炭素化に向けた取組みを応援しています



当金庫は、日本政策金融公庫との協調融資スキーム「グリーン・パートナーズ湘南」の取扱いを開始するとともにe-dash(株)[※]と連携し、CO2排出量の削減や省エネルギー化等の脱炭素化に取り組む事業者を積極的に応援しています。

また、当金庫においても営業店や本部のCO2排出量の測定に着手しています。

2050年のカーボンニュートラル達成を目指して、地域の皆さまと共に脱炭素化への取組みを推し進め、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

※e-dash(株)は、CO2排出量の可視化や削減に向けた取組みをサポートする事業者であり、当金庫は2022年11月に業務提携を行いました。



湘南信用金庫 総合企画部

〒238-8616 神奈川県横須賀市大滝町2丁目2番地

TEL046-825-3385

<https://www.shinkin.co.jp/shonan/>

e-mail keiki@shonan-shinkin.jp

2023年6月発行



マネー・ローンダリング対策にご協力

当金庫は、マネロン対策を経営の重要課題と位置づけ、スケジュールに基づき、その管理態勢の整備、強化に継続して取り組んでおります。お客さまのご理解、ご協力をお願いいたします。